

第30回福岡県子育て保育のつどい（2021/1/24）

第30回福岡県子育て保育のつどいは、2021年1月24日（日）に福岡市立中央市民センターで開催されます。新型コロナウイルスの影響で、始動が遅くなりましたが、講師に名古屋市けやきの木保育園の園長、平松知子さんを迎えて開催します。こんな今だからこそ、一緒に学んで子どもたちの未来を明るくしましょう！

第1回、福岡県子育て保育のつどい実行委員会が10月28日、19時より、密状態を避けるため、座の間隔や換気に気をつけ、1時間という短い時間でしたが、福岡市立中央市民センターで開催されました。

最初に、ちいさいなかま 2020年8月臨時増刊号から、平松知子さんの「気持ちを重ねる心地よさをどの子にも」から2ページ分の読み合わせをしました。続いて、つどいの意義について検討し確認しました。

《つどいの意義》

- ①「平和がいちばん」子どもの未来や子どもの権利を保障するために学びあおう
- ②コロナ禍によって、保育の重要性や必要性はいっそう明らかになりました。すべての子どもが等しく、質の確保された保育を受ける権利が保障される制度を求め、ために知恵と力をつけましょう

☆主催：福岡県保育センター、共催：子育て保育のつどい実行委員会。子育て・保育に関心をもつ団体・個人で構成される、誰でも気軽に参加できる、市民フォーラムをめざします

つどいの内容については、センター通信やホームページなどでもお知らせしていましたように、講師に名古屋市けやきの木保育園の園長、平松知子さんを迎え、講演をお願いしています。平松さんには、第26回の福岡県子育て保育のつどいでも記念講演をして頂きました。その際のアンケートで、もっともっとお話が伺いたいとのリクエストが多く、再度、講師を引き受けて頂きました。今回は『これからの子どもたちと私たちの保育・子育てを語ろう～本質をとら

えるまなざしをもって～』と題しての講演を予定しています。

なお、センター通信やホームページでは午前・午後とも同じ内容の講演とお知らせしておりましたが、これは、福岡市立中央市民センターでの開催を予約した際には、まだ緊急事態宣言が完全には解除されておらず、500名収容のホールに1回あたり100名、換気のために午前午後への入れ替えが義務づけられていたためでした。今回の実行委員会の時点では、500名収容可能と変更になりましたので、午前は講演とし、午後は違った内容の講演あるいは討論、実践のお話など企画したいと考えています。次回の実行委員会までに、各園・施設でご意見を出して頂ければ幸いです。また、ホームページからも企画案をリクエストして頂けるように準備中です。

スケジュールは午前の部 10:00～12:00、午後の部 13:00～15:00。参加費は例年同様、保育センター個人会員：1,200円、会員外：1,800円、学生：1,000円です。ただし、今年はコロナ拡散防止のため残念ながら保育は実施できません。

参加費については、分科会開催がないなどの理由で、再考する必要があるのではないかと討議しましたが、会場費や講師の交通費などの諸事情により、例年と同じ参加費とすることとしました。どうぞご理解をお願いいたします。

つどいの実施に際しては、換気、消毒、マスク着用、体温など、十分に注意し、中央市民センターの指示に従って開催します。



例年、各保育園の保護者の方に実行委員長を引き受けて頂いておりましたが、昨今の事情では難しいだろうと、今回は福岡県保育センター常任委員長の福井英二さんが引き受けてくださいました。つどいの当面の参加目標は350名です。また、ちいさいなかまの拡大にもどうぞご協力ください。

今後、新型コロナウイルスの再拡大も視野に入れ、あらゆることに対処出来るよう様々なことを模索中です。皆様のご協力よろしくお願ひします。

次回の実行委員会 は 東市民センター（なみきスクエア）
2020年11月18日（水）19時～

福岡県子育て保育のつどい 実行委員会
福岡県保育センター
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通5-1-26 アロー103号館 307号室
Tel:092-761-5234 Fax:092-781-1995 mail:center5234@rose.plala.or.jp